



## 令和2年度 西原村社会福祉協議会の主な事業と予算をお知らせします。

基本  
理念

子どももお年寄りも、障がいのある人もない人も、家族や地域社会の思いやりや連帯意識に支えられ、村民一人ひとりが日々の営みに充実感と安らぎを持ち、生きがいの生活が送れるよう「住民参加と支え合いによる福祉の村づくり」を目指します。

基本  
目標

社会福祉法人西原村社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる福祉のむらづくり(地域共生社会)を推進するため、以下の基本目標に基づき事業活動を展開します。



## ① やさしい村づくりネットワークの創造

- 福祉の村づくりを住民一体となり進めるために、地域の福祉課題の的確な把握に努めると共に、地域の中で気軽に集える場所づくりや、さまざまな福祉課題に対してみんなが支える仕組みづくりを進めます。

## ② 生活や地域に密着した福祉サービス支援体制づくり

- 誰もが安心して生活できる地域づくりのため、各種専門相談・生活支援機能の充実や多様な福祉ニーズに応じたきめ細やかな支援体制づくりに努めます。

## ③ 福祉教育・ボランティア活動の推進

- 地域福祉の土台となるやさしさや思いやり、支え合う心を育むと共に、住みよい地域づくりを担う人づくりのため、多様な福祉活動やボランティア活動等へ参加するきっかけづくりを推進します。

## ④ 社会福祉協議会基盤整備

- 社協の安定的な経営のため組織体制の整備や財源の確保に努めると共に、地域住民が求める地域福祉活動の更なる充実発展に全役員で取り組み信頼される社協づくりを進めます。

## 重点推進項目

## 1. 地域福祉推進による福祉コミュニティづくり

住民主体を基本として、地域の福祉力[福祉課題の解決力]の充実と福祉の風土を創っていくため、地域住民や行政、関係機関との連携を密にして、福祉コミュニティづくりを推進します。

## 2. 生活支援の体制整備と強化

新たな生活支援・介護予防サービスの検討実施により、地域の支え合いの体制づくりを推進します。また、地域生活のあらゆる場面において、一人ひとりに寄り添った支援に心がけ、共に支え合い担いあいながら心豊かに生活できる地域づくりの推進に努めます。



## 3. にしはら地域包括支援センターの運営

地域ケアの中核拠点として、総合的な生活支援の窓口となり、地域住民の心身の健康の維持、生活の安定、保健・福祉・医療の向上と増進のために必要な援助、支援を包括的に担います。

## 4. 西原村地域支え合いセンターの運営

熊本地震により被災された住民の安心した日常生活を支え、生活再建と自立を支援するため、総合相談受付・訪問活動・見守り・生活支援・地域交流の促進・介護予防など総合的な支援に努めます。

## 5. 総合ボランティアセンターの機能強化

住民の社会参加活動や福祉教育の推進により、人材のスキルアップやネットワーク化を図ります。また、災害時にも機能する総合ボランティアセンターとしての基盤を整備します。

## 6. 介護保険関連事業の円滑な推進

社会福祉協議会らしい介護保険関連事業を展開するため、地域福祉部門との連携を図り、インフォーマルなサービスを合わせた総合的な支援体制づくりに努め、質の高い自立支援活動とより安心で安定した介護サービスを提供します。

## 7. 組織経営・管理体制の整備

地域福祉活動の基本財源である社協会費や共同募金等への住民の理解促進に努め、安定した事業経営の体制整備、基盤強化を図ります。また、行政や関係機関等との連携強化に努めると共に、社会福祉協議会としての公共性と公益性に根ざした経営理念を保持し、地域や地域住民の福祉ニーズに基づいた地域福祉活動を進展させ、地域住民一人ひとりから信頼・期待される社協を目指します。

# 令和2年度 資金収支予算

収入総額 305,044,581円

支出総額 305,044,581円

村民の方々の社協会費  
 香典返し、社会福祉事業への寄附金など  
 県・村からの補助金  
 地域包括支援センターミニデイサービス、地域支援合いセンター、福祉センター管理運営など  
 介護給付、利用者負担金  
 平成31年度赤い羽根共同募金運動による配分金  
 介護報酬(デイサービス、ホームヘルパー、ケアプラン料)、利用者負担金  
 受取利息、雑収入、事業利用料などその他の収入  
 法人会計より他会計へ繰入金

会費	2,249,400
寄附金	5,000,000
補助金	25,211,000
受託金	52,166,000
障害者総合支援	536,000
共同募金配分金	3,654,782
介護保険収入	108,544,000
諸収入	834,000
経理区分間繰入金	16,143,000
前期末支払資金残高	90,706,399
	305,044,581

事務局運営費	34,596,922
地域福祉事業	7,450,000
共同募金配分金事業	3,654,782
村受託事業費	27,978,000
障害者総合支援事業	447,100
介護保険事業	116,299,054
県社協受託事業	3,275,000
地域包括支援センター	26,895,000
当期末支払資金残高	84,448,723
	305,044,581

運営費、事務諸費  
 事務局人件費  
 地域福祉推進事業  
 地域生活支援事業  
 高齢者・障がい者・児童  
 青少年、住民全般などの地域福祉事業、各福祉団体の支援  
 ミニデイサービス、地域福祉センター管理、地域支援合いセンターなど  
 障害者総合支援事業諸経費  
 通所介護事業、日常生活支援総合事業、訪問介護事業、居宅介護支援事業所運営費、人件費  
 地域福祉権利擁護事業  
 生活福祉資金貸付事業  
 生活困窮者等自立相談支援事業  
 地域包括支援センター  
 認知症総合支援事業  
 生活支援体制整備事業  
 運営費、事務費、人件費

## お 礼

### 香典返し

次の方々より故人のご供養のため社会福祉協議会に多額のご寄付をいただきました。故人のご冥福をお祈りしますと共に心からお悔やみ申し上げます。

嘱託名	故人氏名	遺族氏名
鳥子	山本 清継	山本 那子
宮山	岡島 ナツメ	横田 眞智子
布田	木下 トモ	木下 正二郎
小森西	藤田 次人	藤田 信子

(敬称略)

### ニコニコ献金・一般寄付

(敬称略)

嘱託名	氏名	備考
小森西	須藤 日出明・佐枝子	一般寄付
谷	荒木 均	〃
小森西	桂 商店	〃

この尊い浄財は、ご寄附いただきました各位の趣意に添うべく、社会福祉のために有効に使用させていただきます。ありがとうございます。

尚、個人情報保護の観点から個人寄付金額の公表は控えさせていただきます。

[4月20日受け分まで掲載]

## 日本赤十字社 社員募集及び会費(活動資金)募集の延期について

日頃より、日本赤十字事業について村民の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

さて、本年度も5月1日より5月31日を赤十字月間とし、新たな赤十字社員の募集と、会費(活動資金)のご協力を各区長様、組長様を通じてお願いに回らせて頂く予定でしたが、今回、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発令されるなど、依然として注意が必要な状況です。つきましては、今回(5月)の募集については延期とさせていただきます、今後の状況を勘案し改めてご協力をお願い申し上げます。

※ご協力をお願いする会費(活動資金)は日本赤十字社の諸活動を推進し、地震等による災害救援活動や、医療スタッフの派遣、救急法等の講習、AED等の配備、看護師の養成など、国内外の幅広い活動の財源として有効に使用されます。

また、職場や地域での救急法講習会の開催も随時受け付けております。赤十字活動(社費募集)へのご質問等ございましたら、日本赤十字社熊本県支部西原村分区(西原村社会福祉協議会)までお問い合わせ下さいませ。



この手は、あなたの手です。  
 その手は、私たちの手です。  
 その手は、あなたの手です。  
 その手は、私たちの手です。  
 その手は、あなたの手です。  
 その手は、私たちの手です。  
 その手は、あなたの手です。  
 その手は、私たちの手です。

寄付するあなたも赤十字です  
 日本赤十字社  
 赤十字 寄付 窓口

救いを託されている。 赤十字

赤十字会への協賛も、よりよくお願いいたします。 赤十字運動期間 5/1(木)～31(木)

# 協議会の主な事業実施計画

## 地域福祉活動推進事業

### 地域生活支援体制整備評価事業(のぎくふれあい総合相談センター) 住民グループ支援事業(地域介護予防支援事業)

- ・ふれあいいきいきサロン及びスーパーサロンの普及、充実
- ・子ども合同交流サロンへの支援
- ・レクリエーション講習会やリーダー研修会の開催
- ・小地域の見守りネットワーク体制の充実強化(阿蘇やまびこネットワークつなげるネットワーク)
- ・福祉協力員機能の充実
- ・とりあえずサービス支援や福祉出前サービスの実施



村内 33 集落で開催されている「ふれあいいきいきサロン」今後は、週 1 回開催の「スーパーサロン」を推進します。

## 高齢者福祉事業

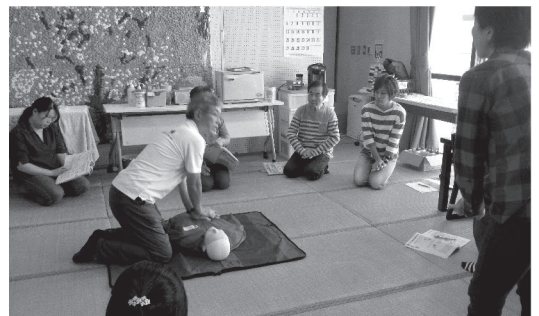
- ・老人クラブ活動への援助
- ・いきいきボランティア養成講習会の開催
- ・福祉球技大会、芸能大会、福祉ふれあいスポーツ大会
- ・伝承遊び交流会の開催
- ・シルバーボランティアの発掘育成
- ・金婚式、ダイヤモンド婚、90才以上の高齢者お祝い訪問
- ・一人暮らし高齢者と小学生との交流会の開催
- ・村長一日民生委員(民生委員の日行事)
- ・災害時に備えた家屋内の安全点検 ・高齢者夫婦世帯の調査把握



高齢者や障がい者のスポーツ大会

## 障がい者・児福祉事業

- ・身体障がい者福祉協会、脳血管障がい者の会(りんどうの会)の支援
- ・地域活動支援センターたんぽぽハウスとの連携
- ・聴覚障がい者支援、手話入門講座の開催、手話サークル支援
- ・身障者スポーツ大会、グラウンドゴルフ・ペタンク大会等への支援
- ・会員交流会ニュースポーツ大会の開催
- ・福祉施設、作業所等との連携 ・福祉機器、リフト車両等の貸し出し
- ・身障者地域懇談会の開催や、発達障がいに関する講演会の開催
- ・地域福祉権利擁護事業(福祉サービス利用援助事業)
- ・療育相談事業(相談員の設置)



救急法講習会やボランティア養成講座の開催

## 児童・青少年福祉事業

- ・ボランティア活動協力校指定事業の実施
- ・ボランティアスクール、福祉体験学習(ワークキャンプ)の開催
- ・地域ふれあい探検隊の開催 ・関係機関との連絡会の開催
- ・地域で世代間のふれあう場づくり支援(みんなでラジオ体操運動の推進)
- ・福祉の職場体験やインターンシップの受け入れ

## 一人親世帯の福祉推進

- ・ふれあい行事やクリスマス交流会の開催
- ・ふれあいレクリエーション(海水浴等)の実施

## 住民全般福祉事業

- ・種別の地域懇談会の開催(ネットワークづくり、要援護者情報共有、障がい者など) ・福祉講演会の開催
- ・社協会費、日赤社資、共同募金運動の推進
- ・ボランティア連絡協議会の自主活動の援助
- ・ボランティアニーズの発掘及び調査研究
- ・ボランティア登録、相談、斡旋機能の充実
- ・ボランティア入門講座(防災ボランティア及び、団塊の世代向け元気ハツラツ講座)の開催支援)
- ・災害ボランティアセンターとしての機能充実
- ・ボランティア活動保険、行事用保険加入の助成
- ・生活福祉資金貸付事業の実施
- ・生活困窮者等自立相談支援事業の実施
- ・小地域の福祉活動拠点の整備支援、災害備蓄品等整備助成事業の実施



福祉体験学習やボランティア体験活動

## 地域・在宅福祉事業

- ・緊急連絡カード(安心ネットワーク)の整備
- ・一人暮らし高齢者の集い(バスハイク)の開催
- ・福祉牛乳の配布や定期訪問の実施
- ・男性料理教室の開催支援 ・高齢者世代の同窓会開催の事務支援
- ・第24回ののぎくまつりの開催 ・各種備品等貸出事業の実施
- ・各種人材の登録推進 ・初盆慶弔訪問



生きがい活動(老連芸能大会)

## 子育て支援事業

- 子育てサポートセンターのぎく運営・子育て協会員・利用会員の交流促進
- 子育て広場づくりや子育てサークル活動の支援
- 児童虐待防止やDV等に関して関係機関との連携

## 介護保険関連事業

- 居宅介護支援事業(介護サービス計画・介護予防ケアプラン作成)
- 通所介護事業(デイサービス)・訪問介護事業(ホームヘルプサービス)

## 地域支援事業(村受託事業)

- 通所型サービスA(西原すみのの会)・軽度生活支援事業(特定高齢者訪問介護)
- ミニデイサービス介護予防事業(28集落公民館×年3回)
- 家族介護支援事業(在宅介護者のぎくの会)

## 障がい者自立支援事業

- 障がい者の在宅支援ホームヘルプサービス(身体、知的、精神)

## 障がい者(児)福祉サービス事業

- 障がい者(児)デイサービス

## 広報活動

- 社協だより(毎月)及びボランティア情報(随時)発行
- のぎく荘だよりの発行(年2回)・サロン特集広報紙(年1回)
- 福祉情報リーフレット、チラシ等の発行
- 社協ホームページの充実やSNS(facebook、ブログ等)の活用

## 福祉団体等への支援

- 西原村民生委員児童委員協議会事務局
- // 相談員連絡協議会事務局
- // 老人クラブ連合会事務局
- // 身体障がい者福祉協会の支援、協力
- // ボランティア連絡協議会の支援
- // 脳血管障がい者(りんどうの会)の支援、協力
- // 介護者の会(のぎくの会)の支援、協力
- 地域活動支援センターNPOにしはらたんぼぽハウスの支援

## 共同募金の推進

- 10月1日～12月31日 共同募金運動の推進
- 種別募金のお願い(戸別募金、法人募金、老人クラブ募金、大口募金、職域募金、学校募金、街頭募金、興行募金、赤い羽根協力店募金、赤い羽根共同募金杯フラバレーボール大会の開催等)

## 日本赤十字社事業

- 5月の赤十字月間に日赤社資のお願いと会員募集
- 災害被災地支援や災害義援金の募集、日赤救援物資の対応
- 救急法、救急員養成講習会の開催
- 防災ボランティアグループ支援や復習会の開催

## 社協基盤強化

- 社協会員会費制度へのご理解とご協力(8月)
- 理事会、評議員会の開催・共同募金配分金の有効活用
- 地域共生のむらづくり推進(課題検討・活動計画・総合的な相談支援体制づくり、協働の仕組みづくり、複合的な拠点づくり)
- 職員の資質向上と研修強化、危機管理の徹底と情報開示

## お客様相談センター(第三者委員会)

- 福祉サービス利用者の皆様からの苦情受付窓口の開設

## にしはら地域包括支援センター運営

- 地域ケアの中核拠点として、総合相談・支援、包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント、権利擁護、地域支援事業など、地域住民の心身の健康の維持及び生活の安定のため、介護・医療や生活全般の支援を行います。

## 西原村地域支え合いセンターの運営

- 熊本地震により被災された住民の安心した日常生活を支え、生活再建と自立を支援するため、総合相談受付・訪問活動・見守り・生活支援・地域交流の促進・介護予防など総合的な支援に努めます。

## 指定管理者制度

### 地域福祉センター管理運営

- 大規模災害時、必要に応じた避難所(福祉避難所)としての機能整備



シルバーヘルパー全体会



のぎくまつりの開催



伝承遊び交流会(世代間交流事業)



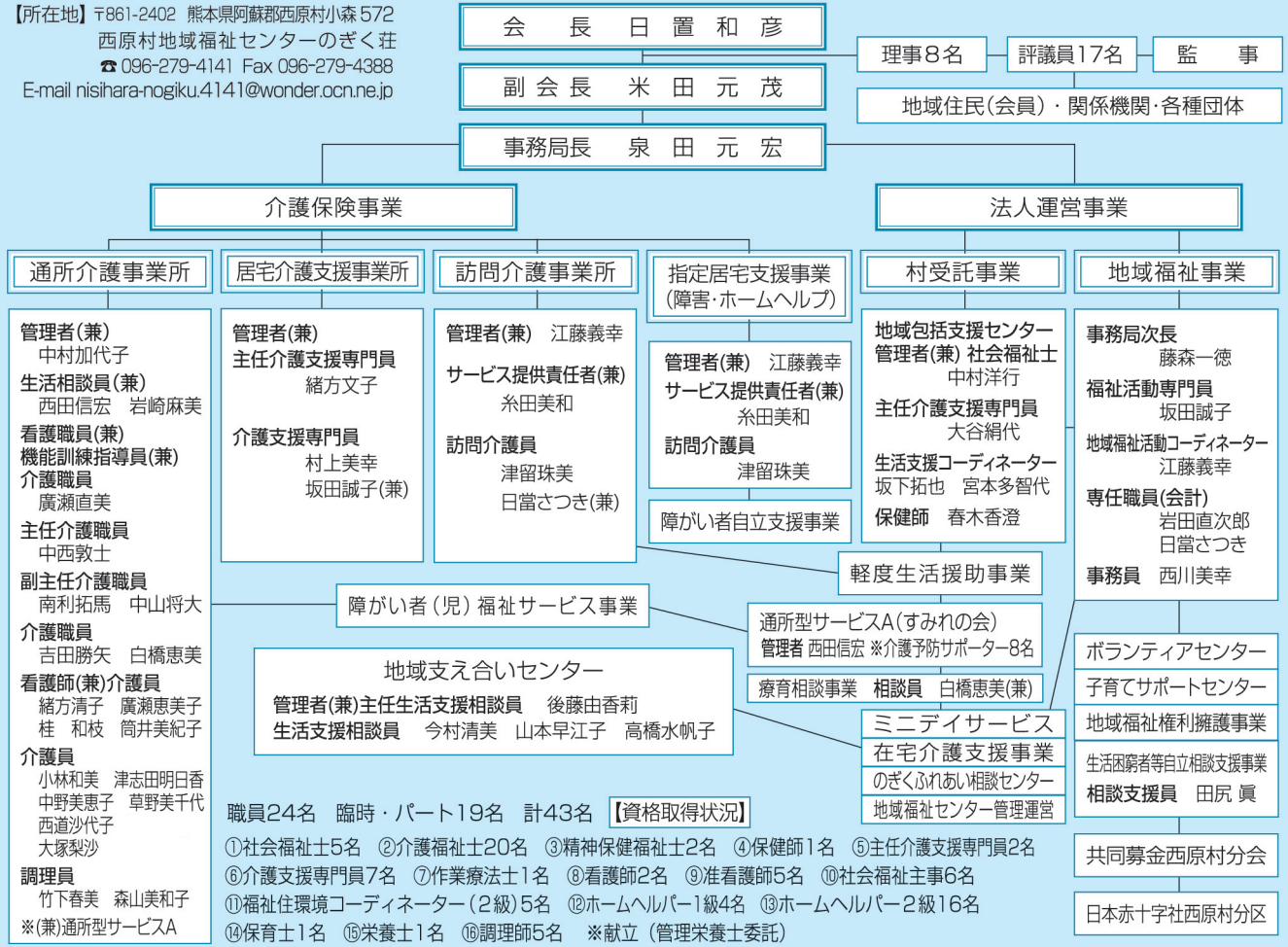
赤い羽根共同募金杯  
フラバレーボール大会



介護保険事業や介護予防事業

# 社会福祉法人 西原村社会福祉協議会組織図

【所在地】〒861-2402 熊本県阿蘇郡西原村小森572  
西原村地域福祉センターのぎく荘  
☎ 096-279-4141 Fax 096-279-4388  
E-mail nishara-nogiku.4141@wonder.ocn.ne.jp



## 訪問介護事業所 居宅介護支援事業所 地域包括支援センター 事務局・地域福祉事業



日當 さつき・江藤 義幸  
糸田 美和・津留 珠美



緒方 文字  
坂田 誠子・村上 美幸



春木 香澄・宮本 多智代  
坂下 拓也・中村 洋行・大谷 絹代



田尻 眞・岩田 直次郎・藤森一徳・江藤 義幸  
西川 美幸・坂田 誠子・泉田 元宏・日當 さつき

## 通所介護事業所



大塚 梨沙・竹下 春美・津志田 明日香・中山 将大  
南利 拓馬・岩崎 麻美・西田 信宏・吉田 勝矢・廣瀬 恵美子



森山 美和子・廣瀬 直美・中野 美恵子・桂 和枝・筒井 美紀子・草野 美代子  
白橋 恵美・中西 敦士・中村 加代子・小林 和美・緒方 清子



# 西原村地域支え合いセンター

一人じゃなかばい おっどん(私たち)もここにおるばい みんなで手は握ってさるく(歩こう)ばい。

## ・地域支え合いセンターとは？

熊本地震で被災された方々が、安心した日常生活を取り戻し、生活再建できるよう、見守りや生活支援、健康づくりや地域交流の促進など総合的な支援を行うところです。

センターでは「生活支援相談員」を配置して、仮設住宅やみなし仮設住宅、災害公営住宅や在宅等で生活をされている住民の方々を巡回訪問し、お困りごとや各種相談への対応を行っています。また、NPOやボランティア団体と協働で交流の場づくりのお手伝いをしています。



高橋 水帆子 今村 清美 山本 早江子 後藤 由香莉

### 見守り・生活支援・健康支援

- ・戸別訪問、相談対応
- ・健康づくり支援、心のケア
- ・生活課題の把握
- ・生活再建に向けた支援など

### コミュニティづくり支援

- ・サロン活動等の促進
- ・孤立防止
- ・交流イベント開催支援など

一人ひとりに寄り添う

ニーズの把握

専門機関等へのつなぎ

- こころのケアセンター
- 地域包括支援センター
- 行政、関係機関の既存事業など

関係団体等との協力

- 民生委員児童委員
- 地区役員、福祉協力員等
- NPO、ボランティア団体等とのコーディネートや協働など

## 総合的な支援

高齢者、障がい者、生活困窮者、子育て世帯など

仮設住宅

みなし仮設

災害公営住宅

在宅など

### 連絡先

西原村地域支え合いセンター (平日・土 8:30~17:30)  
 (西原村小森3156-1 小森仮設団地内)  
 ☎096(273)8383 Fax096(273)8373  
 Eメール nishihara-sasaeai@galaxy.ocn.ne.jp

小森団地内 (仮設団地)

商工会

改善センター



## 令和2年度 ミニデイサービスの日程変更について

本来であれば、令和2年度第1回目のミニデイサービスを4月20日より随時開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が阿蘇管内でも発生したことから、感染予防等の現況に鑑みまして、誠に勝手ではございますが、ミニデイサービスの日程を下記のように変更させていただくことにいたしました。

### 【変更前】

- 第1回： 4月20日～ 5月27日
- 第2回： 6月29日～ 7月31日
- 第3回： 10月28日～11月30日



### 【変更後】

- 第1回： 6月29日～ 7月31日
- 第2回： 10月28日～11月30日
- 第3回： 1月14日～ 2月12日

皆様方には、大変ご迷惑をおかけいたし申し訳ございませんが、今後の感染状況によっては、再度日程を変更させていただくか、中止とさせていただく場合がございますので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。詳細につきましては、各地区のサロンキーパーソンさんか、西原村社会福祉協議会にお問い合わせください。